

板橋宿不動通り地区景観まちづくりプラン (素案)

抜粋版



# もくじ

## 1. 板橋宿不動通り地区景観まちづくりプランとは

(1) プランの目的	P.1
(2) プランの性格	P.2
(3) プランの位置づけ	P.2
(4) プランの対象範囲	P.2
まちの成り立ち	P.3

## 2. 地区の現況における魅力と課題

(1) 現況の把握	P.5
(2) 意向の把握	P.7
(3) 板橋宿不動通り地区の「魅力」と「課題」	P.9

## 3. 景観まちづくりの方向性

(1) 将来のまちの景観の方向性	P.10
(2) テーマ別の方向性	P.11

## 4. 景観まちづくりの具体化に向けて

(1) 資源を活用した景観まちづくり	P.12
(2) 自ら取り組む景観まちづくり	P.13
(3) 協働による景観まちづくり	P.14
板橋宿不動通り地区景観まちづくりルール(案)	P.15
(4) 板橋宿不動通り地区のPR	P.17

## 5. 景観まちづくりの記録

(1) プラン検討の経緯	P.18
--------------	------



# 1. 板橋宿不動通り地区景観まちづくりプランとは

## (1) プランの目的

板橋宿不動通り地区は、中山道第一の宿場町としての歴史を有しています。

また、平成27年には無電柱化が実現し、快適な歩行空間と青空が印象的な商店街の景観が創出されています。

一方で、空き店舗が点在し、高層マンションや住宅等への建て替えが進行するなど、まちなみの連続性が失われつつある現状も抱えています。

このため、商店街や地域にお住まいの方と一緒に勉強会で話し合いを行い、将来めざしたいまちの景観イメージや方向性を定め、地区全体の景観まちづくりを推進するための計画として本プランを策定します。



板橋宿不動通り商店街(平尾追分付近より)

## (2) フランの性格

将来、「板橋宿不動通り地区の景観」がこうなってほしい!という地域の思いを形にし、実行していくための計画です。



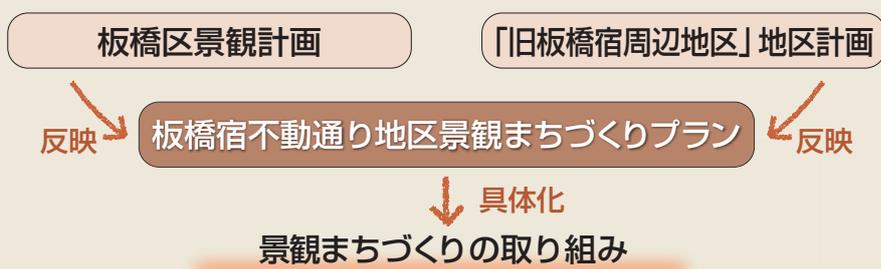
第2回勉強会でのワークショップの様子



第3回勉強会でのワークショップの様子

## (3) フランの位置づけ

本プランは、板橋区の計画を踏まえたうえで、当地区の景観まちづくりに取り組んでいく基本的な考え方と事業の方向性などを位置付けるものです。



本プランと板橋区の計画の位置づけ

## (4) フランの対象範囲

板橋宿不動通り商店街を基本とします。



板橋宿不動通り地区の対象範囲 ※この地図は、東京都知事の承認を受け、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成(承認番号)30都市基著作第21号

# 3. 景観まちづくりの方向性



## (1) 将来のまちの景観の方向性

将来のまちの景観の方向性を「ちょっと寄ってって 板橋宿」と定めることとしました。この言葉には、めざしたい将来のまちの景観の方向性と思いが込められています。

### 将来のまちの景観の方向性

ちょっと寄ってって 板橋宿

ちょっと寄ってみたいくなる景観とは ...

人が集い賑わいが溢れる景観

もてなしが感じられる景観

ほっとする心地よい景観

商店が連なるまちなみ景観

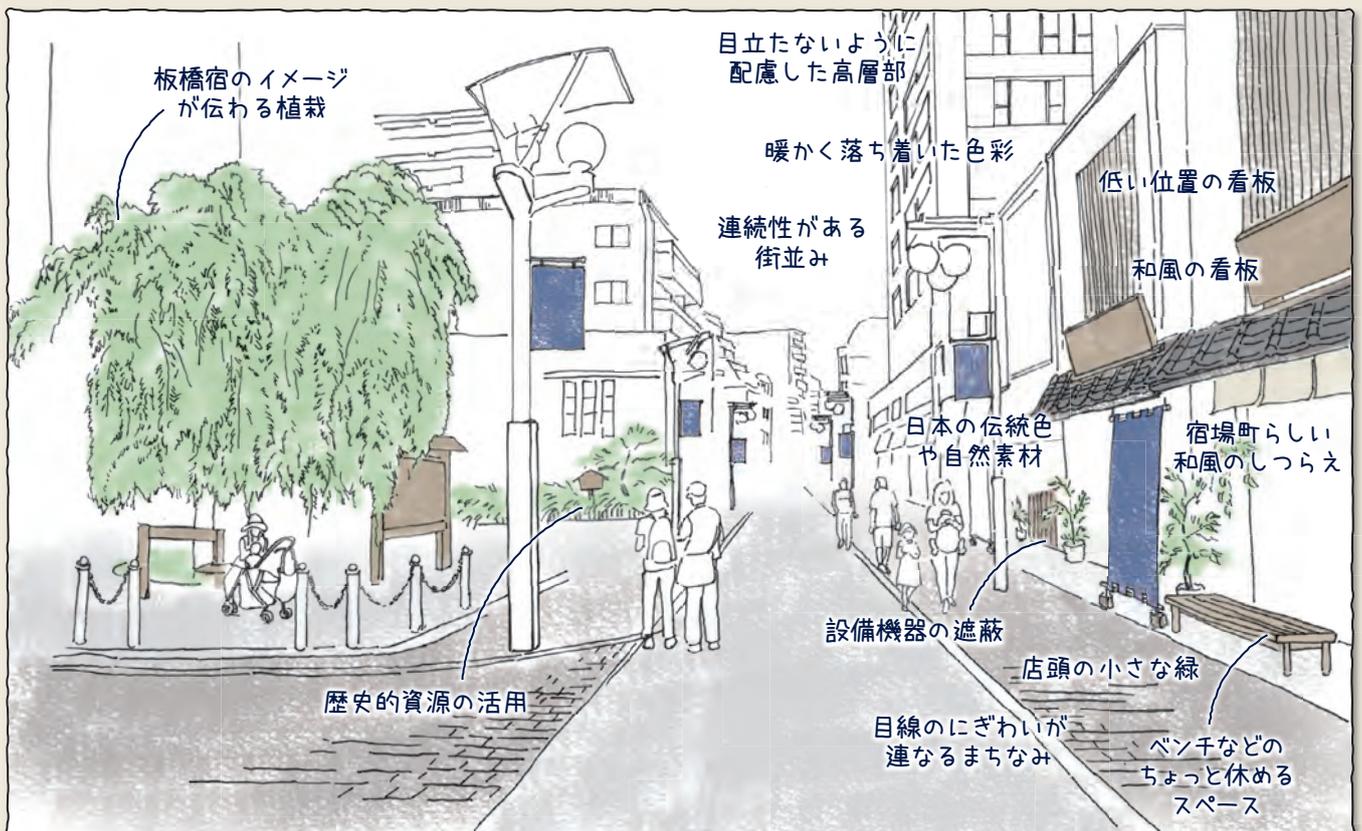
板橋宿の面影を感じさせる景観とは ...

板橋宿の歴史を伝える景観

和を取り入れた風情ある景観

歴史の積層を物語るレトロな景観

### めざしたい将来のまちの景観のイメージ



## (2) テーマ別の方向性

まちの魅力を高め、課題を改善するために、テーマ別の景観に整理して、方向性を定めます。

### 7つのテーマ別の方向性

#### 人が集い賑わいが溢れる景観

##### 【取り組みの例】

- ・既存イベントの活用（朝市等）
- ・観光の推進（マップ、まち歩き）
- ・交流（江戸四宿との交流や連携）



#### もてなしが感じられる景観

##### 【取り組みの例】

- ・見せたくないものの修景（空調設備、ゴミ置き場、自動販売機等）
- ・店先の緑化



#### ほっとする心地よい景観

##### 【取り組みの例】

- ・暖かく穏やかな建物の色彩ルール
- ・温かみのある照明による夜間演出
- ・節度ある広告物の色彩や表現



#### 商店が連なるまちなみ景観

##### 【取り組みの例】

- ・軒が連なる景観の保全
- ・空き店舗の有効活用
- ・シャッターの工夫



#### 板橋宿の歴史を伝える景観

##### 【取り組みの例】

- ・公共サインの設置
- ・和の外構や植栽の活用
- ・板橋宿の名称の活用



#### 和を取り入れた風情ある景観

##### 【取り組みの例】

- ・暖簾・日よけ幕等の活用
- ・木材等の自然素材の活用
- ・リノベーションによる和の演出



#### 歴史の積層を物語るレトロな景観

##### 【取り組みの例】

- ・看板建築の資源化
- ・レトロ建築の保全活用
- ・歴史的資源の保全活用



## 景観まちづくりルール(案)の抜粋

配置	旧中山道の道幅に合ったスケールを意識し、壁面位置や軒の高さの連続性に配慮します。	
高さ・規模	旧中山道を歩く歩行者からの見え方に配慮し、周辺の建築物の高さ・規模との調和を図ります。	
形態・意匠	低層部では、宿場町の面影が感じられる街並みの連続性に配慮します。	
色彩	伝統的に用いられてきた和の建材と類似する暖かく落ち着いた色彩を基調とします。	
公開空地・外構・緑化等	出来るだけ店頭小さな緑を置きます。 マンションは、入口部分や塀などの外構を和風とするなど、宿場町や街道のイメージに配慮した外構とします。	
駐車場などの付属物	時間貸し駐車場は、設備類の色彩や看板のデザインを街並みに調和するものとするよう配慮します。 室外機などの設備機器が、やむを得ず外から見える場合は木質系ルーバーなどでカバーするなど工夫します。	
照明	店先に暖色系のあかりを置くなど、夜を演出する照明に配慮します。 店舗の照明は温かみのある電球色を基本とします。	
屋外広告物	位置	屋外広告物は、低い位置（街灯ラインの下）に集約します。
	色彩	新規に設置する看板類は、伝統色を使用するよう努めます。
	素材	木材や自然素材などの質感豊かな素材を用いるよう努めます。
	表示	宿場町らしい和風のデザインや落ち着きに配慮します。

### 屋外広告物に推奨する伝統色の例

きなりいろ 生成色 10YR9.0/1.0 [19-90B]	すみいろ 墨色 N2.0 [N-20]	べんがらいろ 弁柄色 7.5R3.0/6.0 [07-30L]	からしいろ 芥子色 2.5Y7.0/6.0 [22-70L]	ちとせみどり 千歳緑 2.5G3.0/4.0 [42-30H]	あいいろ 藍色 2.5PB3.0/4.0 [72-30H]	てつこん 鉄紺 5PB2.0/2.0 [75-20D]
---	------------------------------	--	---	--	--	--------------------------------------

日本の伝統色の近似値を、記号はマンセル値、[ ]内は日本塗料工業会標準色見本番号により表しています。